

**製品名: TDG ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18760**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TDG
別名	TDG; G/T mismatch-specific thymine DNA glycosylase; Thymine-DNA glycosylase
遺伝子 ID	6996.0
SwissProt ID	Q13569
免疫原	抗血清はヒト TDG 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

**背景**

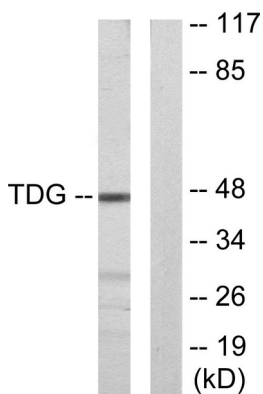
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TDG/mug DNA グリコシラーゼファミリーに属します。チミン DNA グリコシラーゼ (TDG) は、DNA の糖-リン酸骨格とミスマッチしたチミンとの間の炭素-窒素結合を加水分解することにより、G/T ミスマッチか

らチミン部分を除去します。低活性では、この酵素は C/T および T/T ミスマッチからもチミンを除去します。TDG は、グアニンとのミスマッチからウラシルと 5-ブロモウラシルも除去します。この酵素は、5-メチルシトシンおよびシトシンの自発的な脱アミノ化によって引き起こされる遺伝子変異に対する細胞防御において中心的な役割を果たします。この遺伝子は、染色体 12 の p 腕に擬遺伝子を持つ可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：高等真核生物の DNA では、5-メチルシトシンからチミンへの加水分解的脱アミノ化によって G/T ミスマッチが形成される。この酵素は、G/T ミスマッチを G/C ペアに修正する。DNA の糖-リン酸骨格とミスマッチしたチミンとの間の炭素-窒素結合を加水分解することができる。G/T に加えて、C/T および T/T ミスマッチからも、G/T >> C/T > T/T の順序でチミンを除去することができる。アピリミジン部位に対する検出可能な活性は示さず、A/T ペアまたは一本鎖 DNA からのチミンの除去を触媒しない。また、グアニンとの誤対合からウラシルおよび 5-ブロモウラシルを除去することもできます。、PTM:SUMO1 または SUMO2 による Lys-330 の SUMO 化は、生成物 DNA の解離を引き起こします。、類似性:TDG/mug DNA グリコシラーゼファミリーに属します。、

## 研究分野

塩基除去修復

## 画像データ



TDG 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。